

経済対策、農業用水確保等で約1.2億円追加

上越市は、国の補正予算を活用した経済対策や、今冬の小雪対策として、農業用水の確保への支援等に取り組みため、28日からはじまる予算議会に2019年度一般会計補正予算を提案する(1)としました。

(1)の一般会計補正予算は予算総額に12億5412万円を追加するもので、予算規模は1024億7677万円となります。

歳出予算で主な補正内容をあげると、

●農林水産業費で3億368万円
安塚区樽田の雪中貯蔵施設の整備、

棚田保全や棚田地域の振興の取組開始に必要な事前調査費、担い手確保に向けて経営体が行う機械整備への支援、そして、水稻の春作業に必要な水確保が懸念される圃場に対し、簡易貯留施設の整備やため池等の維持修繕に要する経費を増額。

●商工費で7881万円

温泉の宿「久比岐野」の浴室改修工事を前倒しして実施。

●土木費は2億9494万円

道田川の改修、高田公園・五智公園の整備。道路整備と橋梁修繕の一部前倒しして実施。通学路や未就学児が集



【オウレン】再掲。キンポウゲ科の多年草。漢字で「黄連」または「黄蓮」と書きます。白い花は小さく、目立ちませんが、かわいい感じです。いつもは雪割草と同じ時期に咲くのですが、今年は雪割草よりも遅れました。花言葉は「変身」「揺れる心」。写真は吉川区代石にて15日、撮影しました。

新潟県への予算要望

(その3)

●農業を新潟県の基幹産業と位置付けて、農家が安心して生産に励めるよう、価格保障・所得補償の抜本的な充実を国に求めていただきたい。中山間地・条件不利地域で持続可能な農業を実現するため、現在6地区で実施されている「公的サポートモデル事業」の対象地域を広げていただきたい。

●安全・安心の食料供給はもちろん、緑豊かな環境や景観の保全、洪水の防止や水資源のかん養など、農業と農村が果たす多面的な役割をしっかりと位置つけた農業振興条例を制定していただきたい。

●新潟県種子条例にもとづいて、これまでの県の取り組みが維持され、後退しないようしっかりと予算を確保していただきたい。

●森林・林業の振興のため、県産材の利用拡大を図る「越後杉で家づくり総合対策事業」の助成金額を抜本的に引き上げていただきたい。また、同事業をリフォームで活用する場合の使用量の条件を緩和し、需要拡大に努めていただきたい。県立の公共施設に一定割合の県産材使用を義務づけていただきたい。

上越文化会館外壁工事入札で「一位不動」

入札者	入札金額 (円)		
	第1回	第2回	第3回
日曹・中田JV	276,000,000	264,000,000	260,000,000
高館・大島・相村JV	282,000,000	269,000,000	262,000,000
田中・大栄JV	284,000,000	267,000,000	263,000,000
久保田・清水JV	280,000,000	270,000,000	辞退
田辺建設・牛木組JV	278,000,000	272,000,000	辞退

※JVは共同企業体

上越文化会館外壁改修工事入札が1月29日、行われました。入札方法は制限付一般競争入札です。この入札には、日曹・中田共同企業体など5つの共同企業体に参加しましたが、入札は3回にも及びました。上の表の通り、最終的には日曹・中田共同企業体が2億6000万円で落札(落札率98.52%)しました。工期は契約締結の日から280日となっています。

注目したのは、今回の入札では1回目から3回目まで最低の価格を入れたところが同じだったことです。これは「一位不動」と言い、全国市民オンブズマンなどからは「談合の状況証拠」だと言われています。なぜこういうことになったのか、究明が必要ですね。



写真は福寿草。吉川区赤沢にて撮影

3月議会に提出される議案に対する総括質疑が28日と3月2日に予定されています。私は日本共産党議員団を代表して質疑を行います。

総括質疑で登壇します

はしづめ法一の
活動レポート

No.1948 2020.2.23

発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず
Tel 025-548-3628

通じないときは 090-5392-1961

E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp

URL <http://www.hose1.jp/>



ブログ
「ホーセの見
てある記」は
← こちら

橋爪法一

検索

春よ来い

第五九六回

暖かな午後

人間と自然がつくりだす、平凡でありながら、ホッとさせる光景に出合ったときはいいもんですね。

二月半ばの土曜日の午後四時頃のことでした。軽乗用車で市道高沢入線を走っていたとき、前方に、手押し車につかまりながら背中を丸くして歩いている女性の姿が目に入りました。

一目で、ああ、いいなあと思いました。バックには杉林があって、手前の幅広い道路には暖かい日差しがそそいでいる。その道の端っこを歩く様子がとてもゆったりしていて、気持ち良さを感じました。

いったい誰だろう、そう思って近づいて見ると、ヒサエさんでした。率直に言うて、どうして手押し車を使っているんだろうと思います。いつも車を運転している姿を見てきただけに、信じられなかったのです。でも、歩くとなると、こういう「支え」が必要になっただけです。

車の窓を開け、「どうしたのね」と声をかけたところ、丸く、人懐こい顔をしたヒサエさんは「ずっと家の中にいたがだでも、天気いくなったら、清水が出るここまで行って」と思いつき、「さあ、さあ」

この日は午前中は曇りの空で、ちよっぴり寒かったのですが、午後になってから日が差して来て、暖かくなりました。ヒサエさんは、この暖かさに誘われて、手押し車を頼りに散歩に出たのだった。

ヒサエさん宅からケヤキ林の近くにある清水の場所までは三百メートルあります。往復では六百メートルの距離になります。道路はヒサエさん宅から五百メートルくらいが少し下っていて、あとはほぼ平らですが、帰りは最後に上りが待っていることになりました。いい運動になりますね。

話を始めてまもなく、ヒサエさんが「バスが来たよ」と言うので、後方を見た

ら頸城自動車のバスでした。私は車を左端に移動しました。そしてバスが通り過ぎたあと、ヒサエさんは急にナナトリのことを話しました。

「おろちは景色いいすけ、こないだみてな雪が降ると、ナナトリ、よく見えるがど……」

ヒサエさん宅の前庭からはナナトリを含む尾神の山々が見えるんですが、ヒサエさんが話したのは七曲がりになっている道のことです。いまはもう誰も通ることなく、荒れ放題となっている道ですが、雪が少し降って消え始めると、かつての道の形がくっきりと見えるのです。

今冬は雪が降ったり消えたりが何度も続いたので、私も七曲がりの道を写真に撮ることができました。子ども時代に慣れ親しんだ道が遠くからでも見えると懐かしく、うれしくなります。

ひとしきりナナトリのことを話してから、ヒサエさんは手押し車に腰掛けて話を続けました。今度は運転免許証の話です。「もうじき免許証の書き換えなんだけど、ねえけりや医者にも行かんねし、買い物にも行かんね。困ったもんだと思っ……でも、いつか区切りつけねきゃならん」

免許証の「書き換え」というのは更新のことです。ヒサエさんは今、八十代半ばだと思います。春になったら誕生日を迎えるのでしようか、車の運転を続けるべきかどうか迷っている様子が伝わってきました。

午後の暖かい日差しの下でヒサエさんと話したのはせいぜい五、六分だと思えます。でも、その時間は不思議なくらいゆつたりと流れていました。このところ、時間を気にしながら飛び回っていただけに、ヒサエさんとの一緒の時間が私にはとても心地よく感じられました。

鳥獣被害対策実施隊を組織



上越市は、農作物被害の発生を防止を目的に鳥獣の捕獲活動を展開するため、新年度から、新たに、「鳥獣被害対策実施隊」を組織する予定です。

隊員は猟友会から推薦などを受け、市長が任命します。

隊員は、農作物被害が深刻な集落などと、おな等の設置場所・期間の調整や見回り等を役割分担し、捕獲活動を実施します。新年度予算案では169万円が計上されています。



上越地域各消防署における空間放射線量測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。

消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	2月12日(水)	2月19日(水)
上越南消防署	0.040	0.047
上越北消防署	0.047	0.043
新井消防署	0.040	0.047
頸北消防署	0.050	0.053
頸南消防署	0.050	0.060
東頸消防署	0.053	0.057
高士分遣所	0.050	0.067
名立分遣所	0.053	0.053



ネコヤナギも登場

直江津の三八市でもネコヤナギが登場しています。例年よりもかなり早い気がします。このネコヤナギを生け花などに使う人が多く、人気があります。私は、花穂に触った時の感触がとても気に入っています。